

アフリカゾウのたろうの死因（お知らせ）

平成 30 年 11 月 29 日に死亡したアフリカゾウのたろうの死因について、次のとおりお知らせします。

記

1 死 因

解剖検査の結果、慢性気管支肺炎による呼吸不全と推定されました。

2 解剖検査と結果

(1) 解剖検査の実施

平成 30 年 12 月 1 日午前 9 時 30 分から午後 7 時 30 分まで、岩手大学農学部獣医学科（獣医病理学研究室）と共同で、解剖検査を実施しました。この解剖検査に当たっては、ゾウの診療経験豊富である群馬サファリパーク川上茂久園長（獣医師）及び秋田市大森山動物園の獣医師の応援も得て行いました。

(2) 解剖検査の結果

解剖検査所見は、次のとおりであり、これに基づき、上記 1 の死因が推定されました。

ア 肺と気管支の広範囲に及ぶ炎症

横臥の原因は、肺炎の病巣が急激に広がった結果と考えられます。

イ 左右後脚（膝関節）の変形性骨関節症

ここ数年間、0 脚の状態を呈しており、解剖検査の結果、変形性骨関節症と診断されましたが、横臥との関連はないものと考えられます。

ウ 左前脚については、手根関節に自然治癒する程度の病変が見られました。

エ たろうは、死亡する数日前から室内移動を嫌うようになったため、当動物公園獣医師が、診療検査と治療を行っていましたが、解剖検査結果から推定された気管支肺炎を疑わせる症状は見られなかったことから、急激にアの病状が悪化したものと考えられます。

3 その他

たろうの精液又は生殖細胞の保存を目的とし、摘出した精巣等を日本動物水族館協会と連携して配偶子バンク事業を行っている北海道大学に送付しました。たろうの遺伝子が後世に残り、アフリカゾウの種の保存に活用されることを願うものです。